

基礎学力定着プログラム（概要）

1 プログラム策定の趣旨

学校教育の中で、特に重視したい教育活動のひとつが「生きる力」の基盤となる基礎的な知識や技能を児童生徒に身に付けさせることである。

さいたま市教育委員会では、本プログラムにおける基礎学力の内容を、これだけは身に付けさせたい基礎的・基本的事項ととらえ、その確実な定着を図ることは、学校教育が担うべき不易の部分と考える。

そこで、これまでの取組に加え、改めて基礎的・基本的事項の重要性を見直すとともに、その確実な定着を図るための施策を、保護者にも分かりやすい形で示していくことが極めて重要と考え、「基礎学力定着プログラム」を策定した。

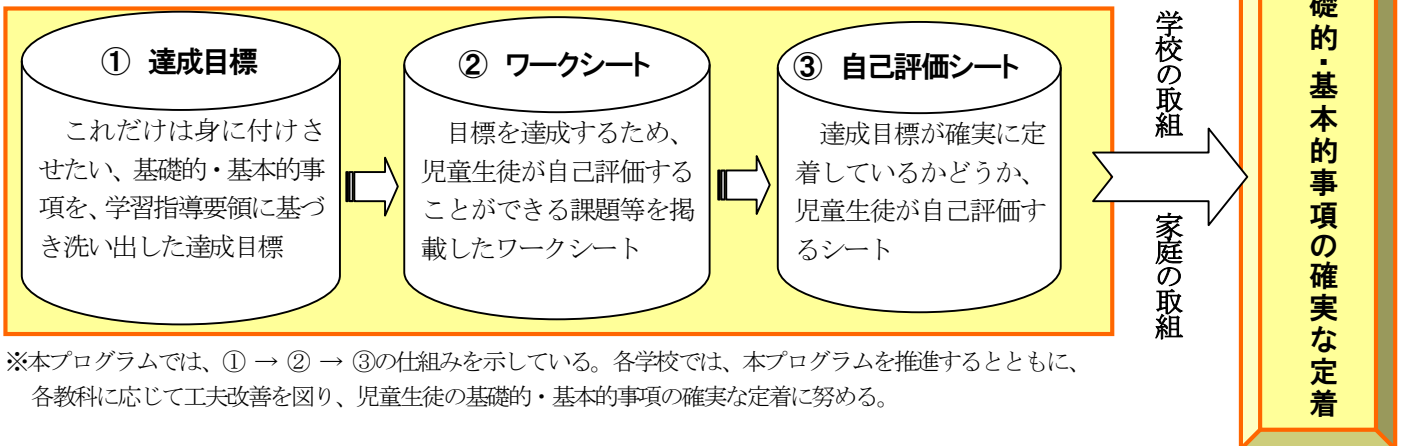
2 プログラムの目標

本プログラムでは、これだけは身に付けさせたい基礎的・基本的事項を、学習指導要領に基づいて洗い出し、その確実な定着を図ることを目標とする。

○基礎的・基本的事項とは、「日常生活において、また、学習を進める上で不可欠であり、各教科で確実に身に付けておきたい内容」を意味する。本プログラムでは、漢字の読み書きや乗法九九など、これだけは身に付けさせたい知識や技能に焦点を当てている。

○基礎学力定着プログラムを推進するとともに「さいたま市国語力向上プログラム」や「さいたま市理数教育推進プログラム」等、知育の総合的な振興策「学びの向上さいたまプラン」の諸事業の推進を通して、確かな学力の向上に努める。

3 プログラムの構成



※本プログラムでは、① → ② → ③の仕組みを示している。各学校では、本プログラムを推進するとともに、各教科に応じて工夫改善を図り、児童生徒の基礎的・基本的事項の確実な定着に努める。

4 達成目標等の内容及び学校の取組

(1) 達成目標

国語については、「読む」・「書く」などの観点から整理して、小学校 23 項目、中学校 14 項目、合計 37 項目の達成目標を設定した。算数・数学については、「計算」や「図形」などの観点から整理して、小学校 68 項目、中学校 34 項目、合計 102 項目の達成目標を設定した。

(2) ワークシート

国語、算数・数学の目標を達成するために、児童生徒が自己評価できる課題等を掲載したワークシートを作成した。

(3) 自己評価シート

国語、算数・数学の達成目標が確実に定着しているかどうかを確認できる自己評価シートを作成した。

(4) 取組事例

① 活用時間・時期

・朝自習 ・授業中 ・放課後 ・単元末、学期末、学年末 など

② 活用方法

・復習 ・補習課題 ・算数コーナーの掲示 ・児童生徒の個人ファイル化
・家庭への発信、情報提供（学校・学年だよりなど） など

◇「じっくり しっかり くり返し」、ワークシート、自己評価シートについては、教育委員会学校教育部のホームページに掲載している。